知識習得型研修の内容

研修項目	学ぶべき事項	達成目標	時
例 修 負 日	十分、6事項	(上)	•
			間
地域住民の健	1. 健康増進施策の概要(健康日本21、国	1. 健康増進施策の概要について、住民の目線	2
康維持・増進	民健康・栄養調査の概要等)	でわかりやすく説明できる。	
	2. 健康診断の概要(がん検診、特定健康診	2. 健康診断の概要について、住民の目線でわ	
	断を含む。)	かりやすく説明できる。	
	3. 健康づくりの基準の概要(「健康づくり	3. 健康診断の受診が必要な薬局利用者を発見	
	のための身体活動基準20 」、「健康	した際に、適切な対応(かかりつけ医や医療	
	づくりのための睡眠指針20 」、「食	機関への受診勧奨、適切な対応先の紹介)を	
	生活指針」、「食事バランスガイド」等)	判断し、実践できる。	
		4. 健康づくりの基準の概要について、住民の	
		目線でわかりやすく説明できる。	
要指導医薬品	1. 薬局、医薬品販売業及び医療機器販売業	1. 薬局	
等概説	並びに医薬品等の取扱いに関する「医薬品、	、医薬品販売業及び医療機器販売	
	医療機器等の品質、有効性及び安全性の確	業並びに医薬品等の取扱いに関する「医薬品	p
	保等に関する法律」の規定	、医療機器等の品質、有効性及び安全性の硝	催
	2. 要指導医薬品等の基本的な薬効群を中心	保等に関する法律」の規定について、住民の	þ
	とした代表的な製剤の成分、効能効果、副	目線でわかりやすく説明でき、住民の理解を	
	作用、用法用量、使用方法(お薬手帳の活	得ることができる。	

2. 要指導医薬品等の基本的な薬効群を中心と

	用を含む。)等	した代表的な製剤の成分、効能効果、副作用、	
	3. 薬局利用者の個々の訴え別に、適切に情	用法用量、使用方法(お薬手帳の活用を含む。)	
	報を収集し状態、状況を把握するための知	等について熟知し、地域住民が適切に使用	
	識 (病態生理学、薬理学等)	できるように提供・指導できる。	
	4. 要指導医薬品等に関する情報収集の方法	3. 要指導医薬品等の重篤な副作用の早期発見	
	(PMDAメディナビ等)	や認められた場合の対応について、地域住民	
		にわかりやすく説明できる。	
		4. 薬局利用者の状態に合わせた適切な対応(か	
		かりつけ医や医療機関への受診勧奨、要指導	
		医薬品等の推奨、生活習慣の改善のための助	
		言、適切な対応先の紹介等)を判断し、実践	
		できる。	
		5. 新しく販売された要指導医薬品等について、	
		住民の目線でわかりやすく説明できる。	
健康食品、食品	1. 特別用途食品及び保健機能食品並びに機	1. 特別用途食品及び保健機能食品並びに機能	2
	能性表示食品制度の概要	性表示食品制度について、説明できる。	
	2. 健康食品による有害作用並びに食品及び	2. 健康食品による有害作用並びに食品及び健	
	健康食品と医薬品の相互作用	康食品と医薬品の相互作用について、地域住	
	3. 健康食品の最新情報	民の目線でわかりやすく説明できる。	
	4. 健康食品に関する適正使用と情報提供	3. 健康食品の最新情報を含め健康食品に関す	
	5. 健康食品、食品の情報収集・評価の手法	る適正使用と情報提供について、地域住民の	
		目線でわかりやすく説明できる。	
		4. 健康食品、食品の情報収集・評価の手法に	
		ついて、地域住民の目線でわかりやすく説明	

		~ さって	
		できる。	
禁煙支援	1. 喫煙の健康影響(症状、疾患等)	1. 喫煙による健康影響(喫煙による症状、疾	2
	2. 薬剤師が行う禁煙支援の方法	病への影響)や医薬品との相互作用を薬学的	
	3. 禁煙の薬物治療	な観点から説明できる。	
		2. 喫煙者に対し、禁煙へ向けた適切な対応(助	
		言による禁煙誘導等)や禁煙支援(禁煙補助	
		剤の適正使用等)を行うことができる。	
認知症対策	1. 認知症関連施策(認知症施策推進総合戦	1. 認知症関連施策及び薬剤師の役割を説明で	1
	略(新オレンジプラン)等)の概要及び薬	きる。	
	剤師の役割	2. 認知症の疑いがある薬局利用者を発見した	
	2. 認知症の早期発見・早期対応に関する薬	際に、適切な対応(かかりつけ医や医療機関	
	剤師の取組	への受診勧奨、適切な対応先の紹介)を判断	
	3. 認知症の薬物治療	し、実践できる。	
		3. 認知症の薬物治療について理解し、実践で	
		きる。	
感染対策	1. 標準予防策の概要	1.標準予防策を実践できる。	2
	2. 季節ごとに流行する代表的な感染症の病	2. 流行している代表的な感染症の病態、感染	
	態、感染経路、予防方法	経路、予防方法について、住民の目線でわか	
	3. 流行している感染症情報の収集方法	りやすく説明できる。	
	4. 代表的な予防接種の意義と方法	3. 代表的な予防接種の意義と方法について、	
	5. 代表的な消毒薬の使用方法(用途、使用	住民の目線でわかりやすく説明できる。	
	濃度及び調製時の注意点)	4. 代表的な消毒薬の使用方法について、住民	
		の目線でわかりやすく説明できる。	
衛生用品、介護	1. 衛生材料・介護用品の製品知識、取扱い	1. 衛生材料・介護用品の製品知識、取扱い	1

用品等	方法	方法について熟知し、地域住民が適切に使用	
用叩守			
	2. 衛生材料・介護用品に関する情報収集の	できるように提供・指導できる。	
	方法	2.ニーズの高い衛生材料・介護用品について、	
	3. 介護保険サービスにおける介護用品の提	住民の目線でわかりやすく説明できる。	
	供方法	3. 衛生材料・介護用品を必要とする薬局利用	
		者に、適切な対応(衛生材料・介護用品の供	
		給・提供、適切な行政サービス等の紹介)を	
		判断し、実践できる。	
薬物乱用防止	1. 依存性のある主な薬物、化学物質(飲酒	1. 依存性のある薬物等やその規制について説	1
	含む)の摂取による健康影響	明することができる	
	2. 覚醒剤、大麻、あへん、指定薬物等の乱	2. 薬物乱用、医薬品の不適正使用のおそれ等	
	用防止に関係する法律の規定	の相談を受けた際に、適切な対応(地域の支	
	3. 薬物等の依存・乱用防止、過量服薬対策	援策や支援の仕組みの説明、適切な行政の支	
	や自殺防止における薬剤師の役割	援事業等の対応先の紹介)を判断し、実践で	
	4. 地域における精神・福祉・保健センター	きる。	
	の役割		
公衆衛生	1. 日用品などに含まれる化学物質とその危	1. 日用品などに含まれる化学物質による健康	1
	険性の摂取による健康影響	影響を薬学的な観点から説明できる。	
	2. 誤飲や誤食による中毒の対応	2. 日用品に含まれる化学物質の危険性から回	
	3. 学校薬剤師の位置づけと業務	避するための方法を住民の目線でわかりやす	
	4. 食中毒の原因となる細菌・ウイルス、自	く説明できる。	
	然毒、原因物質、症状、対応方法	3. 誤飲や誤食による中毒に対して住民の目線	
		でわかりやすく助言できる。	

		4. 学校薬剤師の役割と活動を説明できる。	
		5. 食中毒の原因となる細菌・ウイルス、自然	
		毒、原因物質、症状、対応方法について、住	
		民の目線でわかりやすく説明できる。	
地域包括ケア	1. 地域包括ケアシステムの概要(理念、各	1. 地域包括ケアシステム及び地域包括支援セ	1
システムに	種施策・制度、背景等)	ンターの役割を地域住民の目線でわかりやす	
おける先進的	2. 地域包括ケアシステムにおける先進的な	く説明できる。	
な取組事例	取組の現状	2. 地域包括ケアシステムにおける当該先進的	
		な取組について、地域住民の目線でわかりや	
		すく説明できる。	
コミュニケー	1. 来局者への応対、相談対応等の接遇	1. 薬や健康に関する気軽で安心できる相談相	1
ション力の		手として、相談者の気持ちを配慮した対応を	
向上		行い薬局利用者や地域住民、他職種の人々と	
		良好な信頼関係を築くため、専門職として適	
		切なコミュニケーションがとれる。	